

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 11 月 17 日 (2005.11.17)

【公表番号】特表 2004-535243 (P2004-535243A)  
【公表日】平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-046  
【出願番号】特願 2003-513401 (P2003-513401)  
【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 F 2/30

A 6 1 L 27/00

【F I】

A 6 1 F 2/30

A 6 1 L 27/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 14 日 (2004.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

天然に発生する細胞外基質および当該天然に発生する細胞外基質に供給されている一定の生物学的な潤滑剤を含む軟骨修復装置。

【請求項 2】

前記生物学的な潤滑剤が一定の溶液を含む請求項 1 に記載の軟骨修復装置。

【請求項 3】

前記生物学的な潤滑剤の溶液が一定の G A G を含む請求項 2 に記載の軟骨修復装置。

【請求項 4】

前記生物学的な潤滑剤の溶液が H A を含む請求項 3 に記載の軟骨修復装置。

【請求項 5】

前記天然に発生する細胞外基質および生物学的な潤滑剤が同時凍結乾燥されている請求項 1 に記載の軟骨修復装置。

【請求項 6】

前記生物学的な潤滑剤の部分が前記天然に発生する細胞外基質の部分に架橋されている請求項 1 に記載の軟骨修復装置。

【請求項 7】

さらに、一定の生体活性物質、一定の生物学的に誘導されている物質、および種々の細胞から成る群から選択される一定の付加的な材料を含む請求項 1 に記載の軟骨修復装置。

【請求項 8】

前記天然に発生する細胞外基質が脊椎動物の小腸粘膜下組織、脊椎動物の肝臓基底膜、脊椎動物の膀胱粘膜下組織、脊椎動物の胃粘膜下組織、脊椎動物の消化管組織、脊椎動物の呼吸器組織、および脊椎動物の生殖器組織から成る群から選択される一定の供給源から誘導されている組織を含む請求項 1 に記載の軟骨修復装置。

【請求項 9】

前記天然に発生する細胞外基質がウシの組織、ヒツジの組織、およびブタの組織から成る群から選択される一定の供給源から誘導されている組織を含む請求項 1 に記載の軟骨修復装置。

**【請求項 10】**

前記細胞外基質が損傷した軟骨に形成した一定の開口部の中に位置決めするように構成されている一定のプラグ部分を含む請求項 1 に記載の軟骨修復装置。

**【請求項 11】**

一定の軟骨修復装置を作成する方法において、  
一定の天然に発生する細胞外基質を供給する工程、  
一定の生物学的な潤滑剤を液体の形態で供給する工程、および

前記天然に発生する細胞外基質を前記液体の生物学的な潤滑剤により湿らせて一定の湿潤状態の移植片を形成する工程を含む方法。

**【請求項 12】**

さらに、前記湿潤状態の移植片を包装する処理、および最終的に当該包装した湿潤状態の移植片を滅菌する処理を含む請求項 11 に記載の方法。

**【請求項 13】**

さらに、前記湿潤状態の移植片を乾燥する処理、当該乾燥状態の移植片を包装する処理、および最終的に当該包装した乾燥状態の移植片を滅菌する処理を含む請求項 11 に記載の方法。

**【請求項 14】**

前記天然に発生する細胞外基質を供給する工程が脊椎動物の小腸粘膜下組織、脊椎動物の肝臓基底膜、脊椎動物の膀胱粘膜下組織、脊椎動物の胃粘膜下組織、脊椎動物の消化管組織、脊椎動物の呼吸器組織、および脊椎動物の生殖器組織から成る群から選択される一定の供給源から誘導されている組織を供給する処理を含む請求項 11 に記載の方法。

**【請求項 15】**

前記天然に発生する細胞外基質がウシの組織、ヒツジの組織、およびブタの組織から成る群から選択される一定の供給源から誘導されている組織を含む請求項 14 に記載の方法。

**【請求項 16】**

さらに、一定の材料を前記装置の中に組み込む工程を含み、当該材料が一定の生体活性物質、一定の生物学的に誘導されている物質、および種々の細胞から成る群から選択される請求項 11 に記載の方法。